※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　クラフト科

教科	工業	科目	クラフト実習Ⅰ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	無し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

彫刻刀や電動研削機、糸鋸など刃物で指先を切ることがあるので道具の取り扱いには注意する。
作品の基本となるデザインを日ごろから意識しておく。
様々な技法の基礎になる学習です。しっかり学んでください。

２　学習の到達目標

・工芸文化を幅広く理解し、創造的な表現をするために必要な技術を身に付ける。
・感性や想像力を働かせて、創造的な表現の構想を練ることができる。
・工芸文化に関心を持ち、表現や鑑賞に対して主体的に創造活動に取り組む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工芸文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 創造的な表現をするために必要な技術を身に付け、表現方法を工夫して表している。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造活動の喜びを味わい、工芸文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	樹脂による造形	立体的な造形。 樹脂の加工方法を習得する。 研削・研磨で使用する道具・機械に慣れる。	a: 様々な表現の技術・ 計画的に制作を進めるための知識と理解。 b: 表現のアイデア、期限内に完成させるスケジュールを考える。独創的なアイデアのデザインであるか。 c:表現・制作への関心。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート
2	カトラリーの制作	用途に合わせ、個性を生かしたデザインを考える。 金工で使用する道具、機械に慣れる。 バーナーでのろう付け方法を習得する。	a: 様々な表現の技術・ 計画的に制作を進めるための知識と理解。 b: 表現のアイデア、期限内に完成させるスケジュールを考える。独創的なアイデアのデザインであるか。 c:表現・制作への関心。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート
3	アクリル板による造	立体的な造形。 アクリル板の加工方法を習得する。 研削・研磨で使用する道具・機械を有効に活用する。	a: 様々な表現の技術・ 計画的に制作を進めるための知識と理解。 b: 表現のアイデア、期限内に完成させるスケジュールを考える。独創的なアイデアのデザインであるか。 c:表現・制作への関心。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度